

JILPT 資料シリーズ

No. 163 2015年10月

多様な領域における 若年者雇用支援事業の運営状況

—事業運営団体ヒアリング調査結果報告—

多様な領域における
若年者雇用支援事業の運営状況
—事業運営団体ヒアリング調査結果報告—

ま え が き

若者から大人への移行過程が不安定化・複雑化・長期化する現代社会では、若者を取り巻く多様なステークホルダーが連携しながら包括的な支援を行う必要がある。中でも雇用に関する支援は、若者の経済的・社会的な自立を促進する上で最も重要な課題の一つである。こうした問題意識から、わが国でも労働行政・学校教育・産業界（経済団体）等の多様な領域において、また公的事業だけでなく民間事業としても、若年者の学校から職業への移行を支援する取組が様々に行われている。こうした取組をより効果的なものへと発展させていくためには、まずはこれまでに実施されてきた取組について情報を収集し、それぞれの特徴や課題を相互に理解する必要があるだろう。

本報告は、以上の問題意識に基づき実施された、聞き取り調査の結果をまとめたものである。具体的には、大学等の新卒者および卒業間もない既卒の若者を、主に中小企業による雇用へと結びつけることを目的とする、労働行政・学校教育・産業界（経済団体）において実施された公的事業と、民間企業による取組について、各事業の実際の運営を担当した団体に聞き取り調査を実施した。本研究の第一の目的は、これらの事例から従来の若年者雇用支援施策が抱える課題を解決するための手がかりをえることにある。さらにこれらの事例から、今後多様な領域が連携して若年者の雇用を支援していく上で課題となるだろう事柄を提示し、解決に向けての提言を行う。

本研究が、わが国の若年者雇用支援政策のさらなる発展の手がかりとなれば幸いである。最後に、本研究にご協力頂いた皆様方へ厚く御礼を申し上げます。

2015年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
いわわき ちひろ 岩脇 千裕	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	第Ⅰ部 第Ⅱ部
くわはら のりえ 桑原 教恵	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第Ⅱ部
ほんじ ゆうきち 品治 佑吉	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第Ⅱ部

※執筆者の所属は2015年3月時点のものである。

目 次

序	1
第Ⅰ部 調査結果	
第1章 本報告で検討する課題	11
第2章 アウトリーチ	17
第3章 職場への定着支援	23
第4章 支援者の能力開発・情報共有	28
第5章 政策的インプリケーション	39
第Ⅱ部 資料	
1. 事例紹介	55
2. ヒアリング票	183